

# 第2回 事業報告書

(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)

## I 事業活動

今年度は、公益目的事業として、引き続き、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする「産業振興事業」および重要文化財建物を通して建築文化や歴史を学ぶ場とするとともに、建物を活用した文化活動の場を提供することによる文化振興を目的とした「文化財活用事業」を行いました。

なかでも、本年は北九州市制50周年にあたり開催された「市制50周年記念オールディーズ・コンサート」は、定員をはるかに越える1,000名近い応募があり、あらためて建物のもつ魅力を感じさせられました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を、公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も積極的に行いました。

### 1 産業振興事業

#### (1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ800名程の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

平成25年の当倶楽部主催の講演会は、次のとおりです。

第1回 平成25年1月29日(火)

「総選挙後の内外情勢」

同志社大学法学部学部長 村田 晃嗣氏

第2回 平成25年2月14日(木)

「北部九州の経済情勢について」

財務省福岡財務支局長 御園生 功氏

第3回 平成25年3月 7日(木)

「世界の貿易構造の変化と我が国の貿易動向について」

門司税関長 篠崎 透氏

- 第4回 平成25年3月22日(金)  
「日中関係を考える」  
フリージャーナリスト 五十嵐 公利氏
- 第5回 平成25年4月16日(火)  
「北九州市・新たな成長へのチャレンジ  
～誕生から50年を迎えた北九州のこれから～」  
北九州市長 北橋 健治氏
- 第6回 平成25年5月17日(金)  
「父のこと、そしてミュージカルについて」  
アルモナック北九州リイムホール館長 古川 清氏
- 第7回 平成25年6月10日(月)  
「中国経済の台頭と日米関係への影響」  
ジョージ・ワシントン大学教授 ジョセフ・ペルツマン博士
- 第8回 平成25年6月14日(金)  
「エネルギー問題を考える～エネルギー安全保障と社会の安全・安心」  
北九州産業技術保存継承センター館長 金氏 顯氏
- 第9回 平成25年7月12日(金)  
「普段の食べ方の中にダイエット成功のコツがある」  
栄養医学研究センター附属笹塚クリニック首席研究員 浜田 璋子氏
- 第10回 平成25年8月 5日(月)  
「アベノミクス下の日本・九州・福岡経済の行方。参院選を受けて」  
西日本新聞社特別論説委員 中川 茂氏
- 第11回 平成25年9月18日(水)  
「中国経済の現状と課題 ―中所得の罾と体制移行の罾―」  
野村資本市場研究所シニアフェロー 関 志雄氏
- 第12回 平成25年10月16日(水)  
「福岡県の発展戦略について～県民幸福度日本一を目指して」  
福岡県知事 小川 洋氏
- 第13回 平成25年11月27日(水)  
「経済産業政策の展望と九州」  
九州経済産業局局長 廣實 郁郎氏
- 第14回 平成25年12月19日(木)  
「最近の内外経済情勢と今後の展望」  
日本銀行北九州支店長 宮田 慶一氏

その他共催・後援事業は次のとおりです。

特に、3月4日の講演会は北九州市の経済7団体が北九州地域連携フォーラムとして合同開催し、550名の参加がありました。

平成25年1月22日(火)

「日本の電力システム改革とアジアへのODA」

学習院大学経済学部特別客員教授・大阪大学名誉教授 八田 達夫氏

平成25年2月15日(金)

「国境を越えた都市連携と地域発展」

国立釜山大学名誉教授 林 正徳氏

平成25年2月21日(木)

「なぜ今ドラッカーが求められるのか」

作家 岩崎 夏海氏

平成25年3月4日(月)

「ダントツ経営ー日本国籍グローバル企業に自信ありー」

(株)小松製作所取締役会長 坂根 正弘氏

平成25年3月12日(火)

「アジア最前線～九州のグローバル戦略～」

(財)九州経済調査協会 調査研究部次長 加峯 隆義氏

平成25年4月23日(火)

「国際東アジア研究センター平成24年度研究報告～「東アジア」「産業と物流」「環境政策」～」

(公財)国際東アジア研究センター主席研究員 戴 二彪氏他

平成25年6月3日(月)

「グローバル産業としての林業の可能性～九州の林業の動向を中心に～」

北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授 城戸 宏史氏

平成25年7月17日(水)

「クオリティ国家という戦略～これが日本の生きる道～」

(株)ビジネス・ブレークスルー 代表取締役社長 大前 研一氏

平成25年9月10日(火)

「北朝鮮の対外貿易と朝鮮半島の南北協力に関する展望」

高麗大学校 名誉教授 黄 義珏氏

平成25年11月16日(土)

SSC 地域公開シンポジウム

「低炭素と持続可能性を両立する地域づくりの最前線～北九州市の取り組みから～」

東京大学国際高等研究所 IR3S

機構長・教授 武内 和彦氏他

## (2) 交流会

### ① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウム”の会を4月、11月に計2回開催しました。それぞれのテーマに沿った食材を使った料理を楽しむとともに、映像等による倶楽部の活動紹介も行いました。

### ② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として、次のとおり開催し、九州経済産業局長、福岡県知事、北九州市市長ほか多数の参加があり情報交換、懇親の場として活用いただきました。

1月7日 新年賀詞交歓会

4月16日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

10月16日 福岡県知事特別講演会ならびに秋季懇親会

### ③ 行政・経済団体等との交流

行政（九州経済産業局、福岡財務支局、北九州市各部局・教育委員会など）、友好諸団体（北九州商工会議所、（公財）北九州国際技術協力協会、（公財）北九州活性化協議会、（公社）北九州貿易協会、（公財）国際東アジア研究センター、（公財）北九州国際交流協会、福岡経済同友会、福岡ユネスコ協会、福岡アメリカンセンターなど）と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動などに積極的に協力し地域の発展と国際友好親善に努めました。

## 2 文化財活用事業

明治45年（1912）年に洋館が竣工し、昭和47年（1972）年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、公開は特別公開日のみとしております。今年度の特別公開日は、4月7日および10月20日の2日間開催し、合わせて2,000名近くの入場者がありました。

なお、建築専門家及び建築に関心のある団体や学校からの社会見学は事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に建物の意義等を知っていただくための館内案内を行っており、単なる行事参加とは違って、重要文化財に直接触れることで、文化財の意義・価値を認識するとともに文化財保護意識を高める機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との交流を始め、文化団体との交流では、音楽・茶道・華道・書画等や音楽会・作品発表会などに、会場の提供を行い、文化向上に努めました。特に、特別公開に合わせた、コンサートや各種文化団体の作品発表会は、出展者ならびに参加者に大好評を博しました。

### 3 食堂運営事業

今年度の一般会食は、昨年度の創立 60 周年や洋館竣工 100 年の特別事業はなくなりましたが、年間のレストラン企画のご利用も順調で、昨年を上回る売上となりました。

婚礼売上は婚礼部門強化の効果が出てきて、目標件数を達成できたことや各種の改善努力の成果も出てきて、当事業の売上高は 257,605 千円(前年比 47,231 千円増)となり、1,972 千円(昨年比 1,029 千円増)の黒字を計上することができました。

なお、これらに、産業振興事業、文化財活用事業および法人会計の収支を加えた、全体の収支は、収入 295,832 千円(前年比 26,950 千円増)、支出 295,369 千円(前年比 22,297 千円増)となり、差引き 463 千円(昨年は 4,189 千円の経常損失)の経常利益となりました。

## II 会務の概況

### 1 定時社員総会

平成 25 年 2 月 26 日 12 時 00 分より当倶楽部で第 1 回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第 1 期(平成 24 年 1 月 4 日から 12 月 31 日まで)事業報告の件

決議事項

第 1 号議案 第 1 期(平成 24 年 1 月 4 日から 12 月 31 日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第 2 号議案 理事 3 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第 3 号議案 監事 1 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

### 2 理事会・委員会

平成 25 年度中に開催された理事会・委員会は次のとおりです。

理事会	3 回	監事会	1 回		
役員懇談会	4 回				
経済調査委員会	4 回	財務委員会	1 回	総務委員会	3 回
交流委員会	1 回				

### 3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	181社 (243人)	4社 (6人)	2社 (3人)	183社 (246人)	+2社 (+3人)
個人会員	9人	1人	1人	9人	+0人
客員	8人	0人	0人	8人	0人

\*指名会員の異動には、増員ならびに個人会員への異動を含みます。

### 4 役員の状況(平成26年2月26日現在)

理事長(代表理事)	利島康司
副理事長	谷本進治
	同 濱本康男
	同 張本邦雄
常任理事	赤木博
理事	高橋正幸
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 古野英樹
	同 戸上勝喜
	同 平島孝三郎
	同 早川陽一
	同 自見榮祐
	同 二橋岩雄
	同 前川義広
	同 児玉幸信
	同 芳賀晟壽
	同 福田信夫
	同 柳澤順三
	同 山本雄造
監事	山崎博司

同 古 村 至 朗  
同 三 島 正 一  
同 南 本 久 精